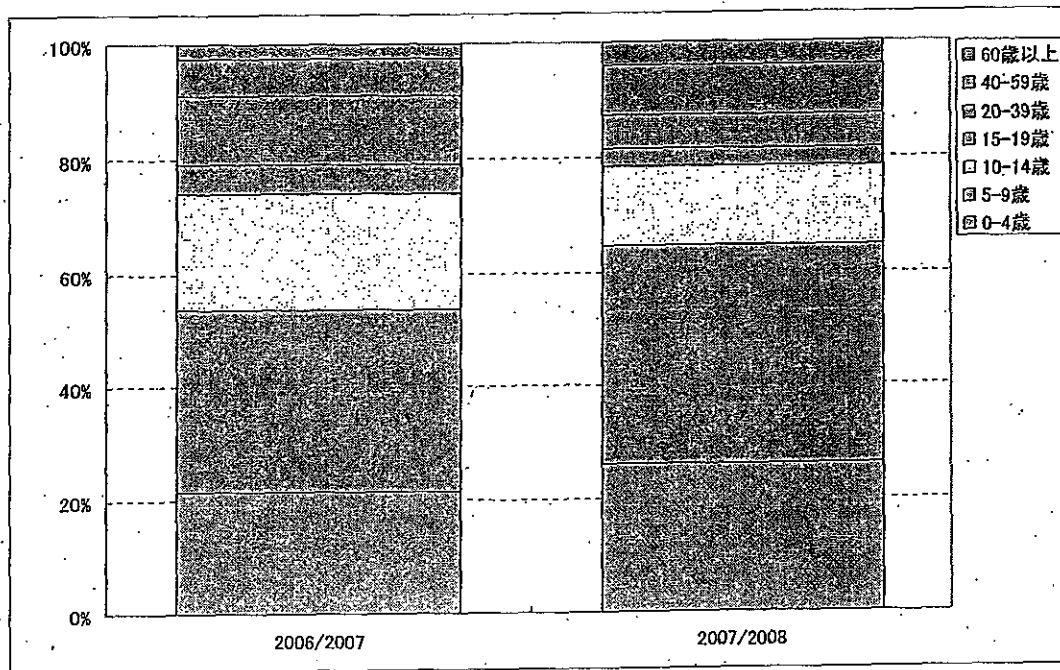


# 図3.年齢別インフルエンザ患者報告数

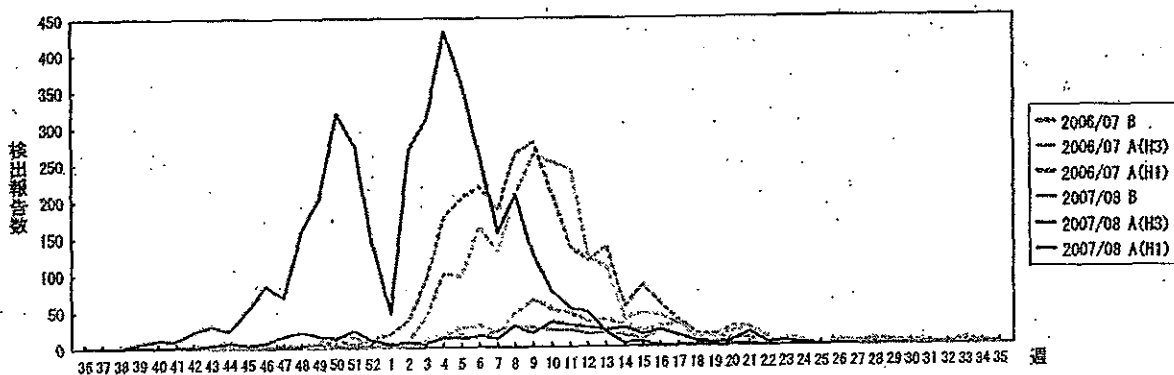


出典:発生動向調査

# 図4.型別インフルエンザウイルス分離の検出報告数

週別型別インフルエンザウイルス分離・検出報告数の推移、2006/07&2007/08シーズン  
 (病原微生物検出情報：2008年7月1日 作成)

\*各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した



## 調査概要

9

## 調査概要

- 重度の異常な行動に関する調査（重度調査）
  - すべての医療機関
  - 2006/2007シーズン：後向き調査
  - 2007/2008シーズン：前向き調査
- 軽度の異常な行動に関する調査（軽度調査）
  - インフルエンザ定点医療機関
  - 2007/2008シーズン：前向き調査

10

## 調査概要（重度）

- 調査依頼対象：すべての医療機関
- 報告対象：インフルエンザ様疾患と診断され、かつ、重度の異常な行動※を示した患者
  - ※飛び降り、急に走り出すなど、制止しなければ生命に影響が及ぶ可能性のある行動
- 報告方法：インターネット 又は FAX

11

## インフルエンザに伴う異常な行動に関する報告基準（報告基準）

- インフルエンザ様疾患と診断され、かつ、重度の異常な行動を示した患者
- インフルエンザ様疾患
  - 臨床的特徴（上気道炎症状に加えて、突然の高熱、全身倦怠感、頭痛、筋肉痛を伴うこと）を有しており、症状や所見からインフルエンザと疑われる者のうち、下記のいずれかに該当する者
    - ▶ 次のすべての症状を満たす者①突然の発症、②高熱（38℃以上）、③上気道炎症状、④全身倦怠感等の全身症状
    - ▶ 迅速診断キットで陽性であった者
- 重度の異常な行動
  - 突然走り出す
  - 飛び降り
  - その他、予期できない行動であって、制止しなければ生命に影響が及ぶ可能性のある行動

12

# 重度の分析

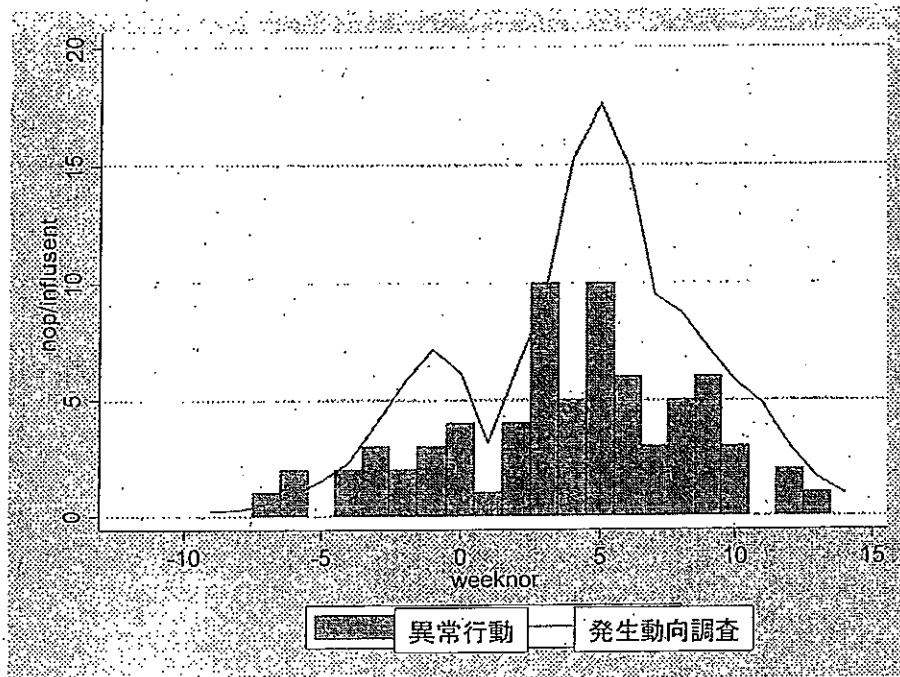
13

## 分析対象データ

報告数	674			
重度	88	除外		対象
	日時不明	8	11	77
	高齢者(31歳以上)	3		
軽度	532			
不明	54			

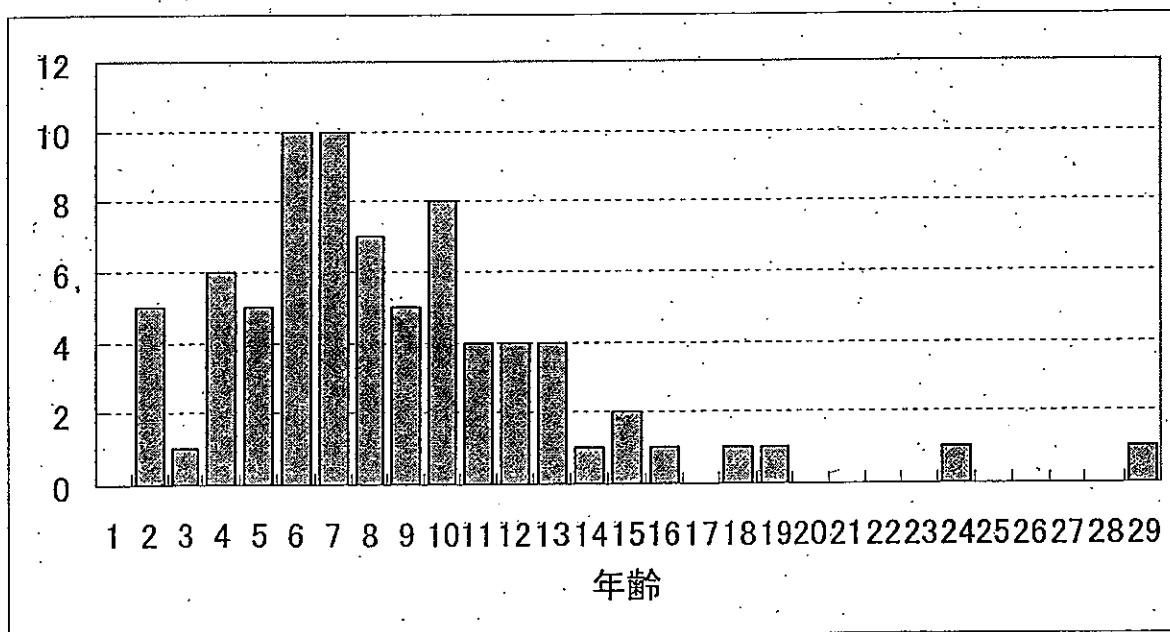
14

# 図5.異常行動（重度）の発熱週と発生動向調査



15

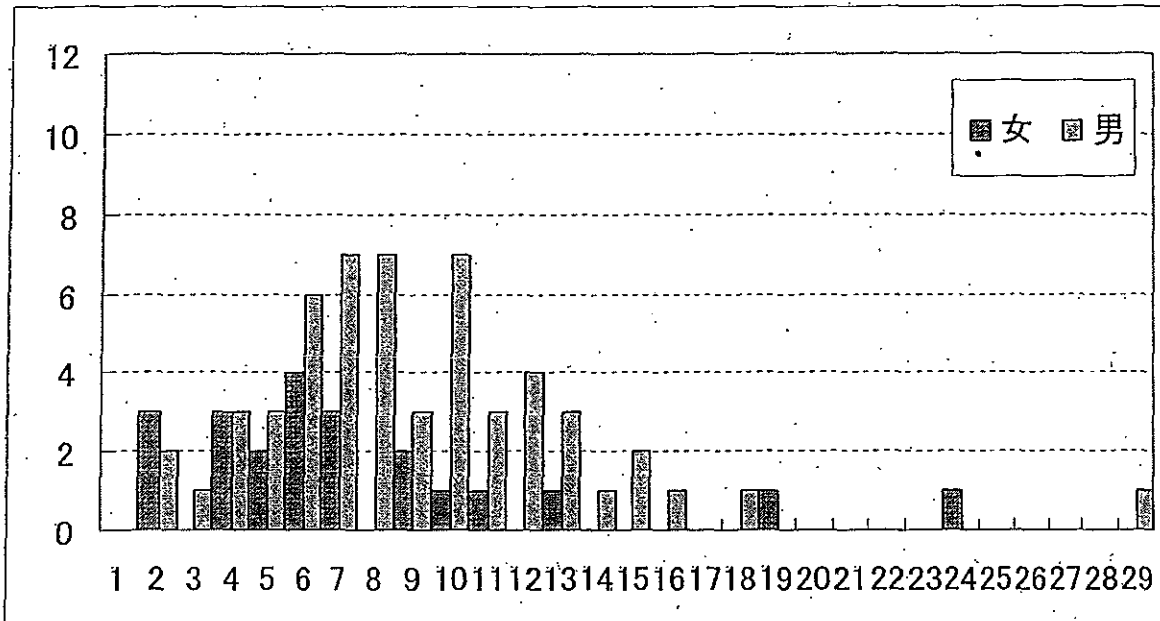
# 図6. 患者の年齢n=77



平均値8.66  
中央値8

16

図7.患者の年齢と性別n=77

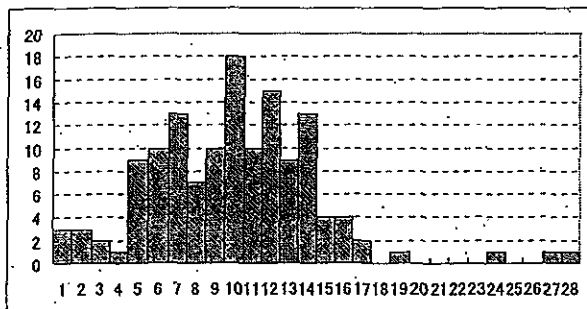


17

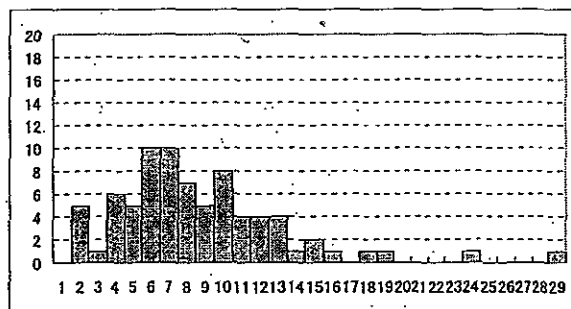
図8.昨シーズンとの比較

2006/2007

2007/2008



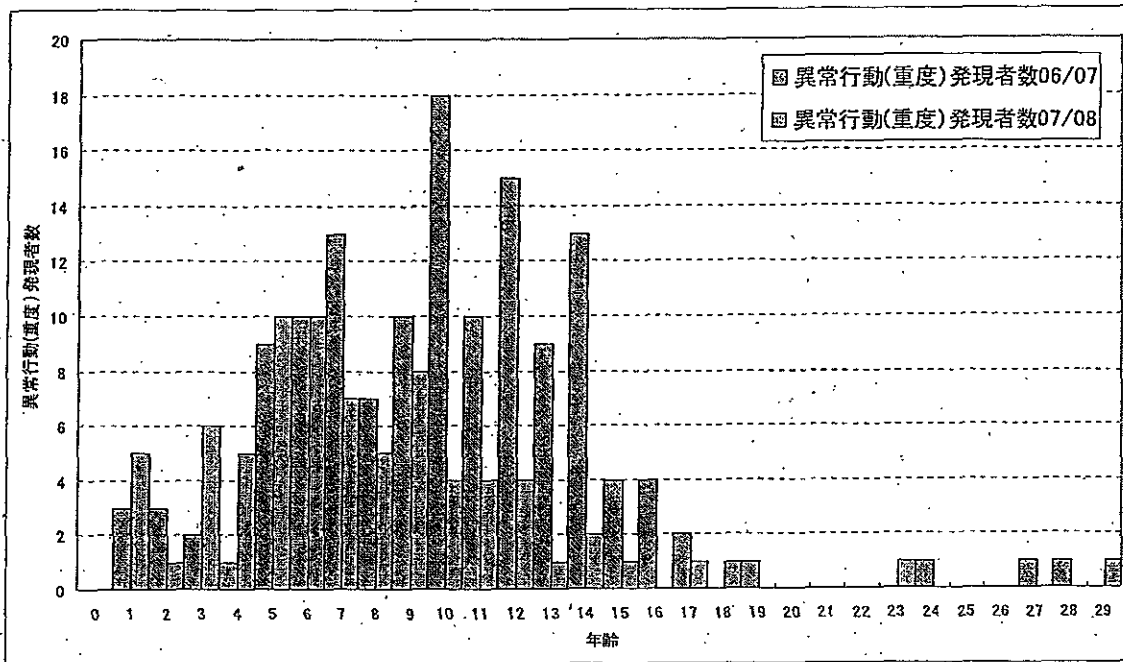
平均値10.11  
中央値10



平均値8.66  
中央値8

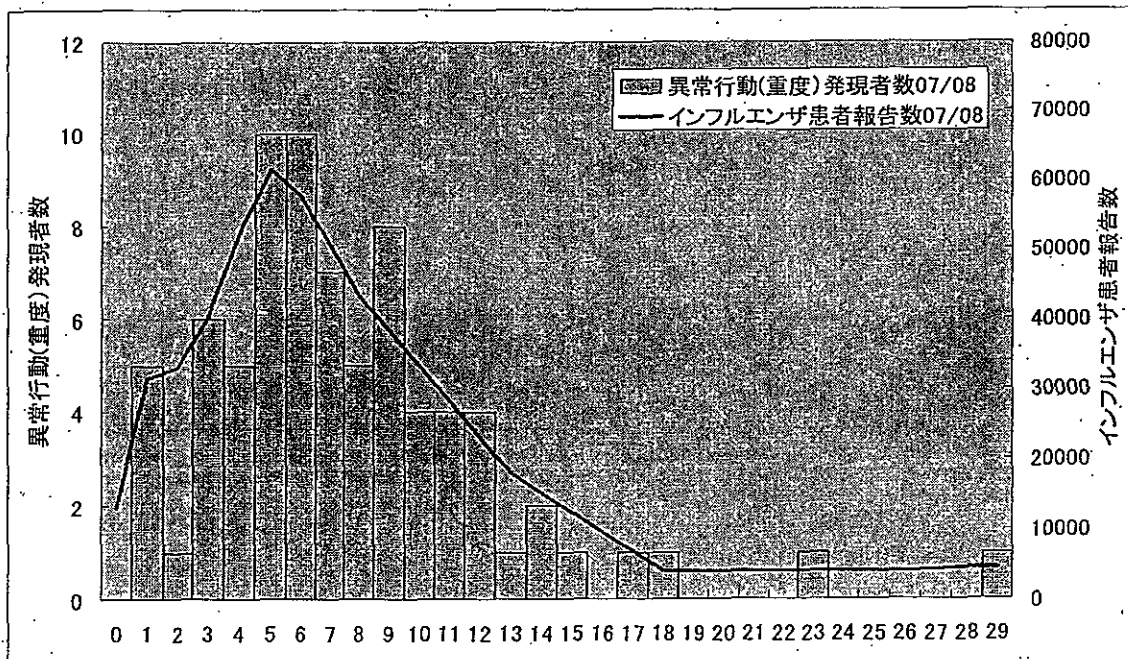
18

# 図9.昨シーズンとの比較



19

# 図10.異常行動（重度）発現者数とインフルエンザ患者報告数 2007/2008シーズン



20